

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	2017年度末	2018年度 第3四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	7,614,123	7,458,783
基金等	1,195,875	1,209,595
価格変動準備金	684,594	790,749
危険準備金	691,787	706,787
一般貸倒引当金	1,310	780
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	3,202,005	2,809,000
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	348,812	361,826
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	936,352	919,471
負債性資本調達手段等	453,310	560,735
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	100,074	99,836
リスクの合計額	1,623,634	1,569,429
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)		
保険リスク相当額 R1	119,760	120,362
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	61,586	67,530
予定利率リスク相当額 R2	145,077	146,533
最低保証リスク相当額 R7	8,829	10,305
資産運用リスク相当額 R3	1,424,153	1,366,818
経営管理リスク相当額 R4	35,188	34,231
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	937.9%	950.5%

- (注) 1. 2017年度末については、保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。2018年度第3四半期会計期間末については、これらの規定に準じて当社が合理的と判断する方法で算出しています。
2. 「最低保証リスク相当額」は、平成8年大蔵省告示第50号第2条第4項に規定する標準的方式に基づいて算出しています。